

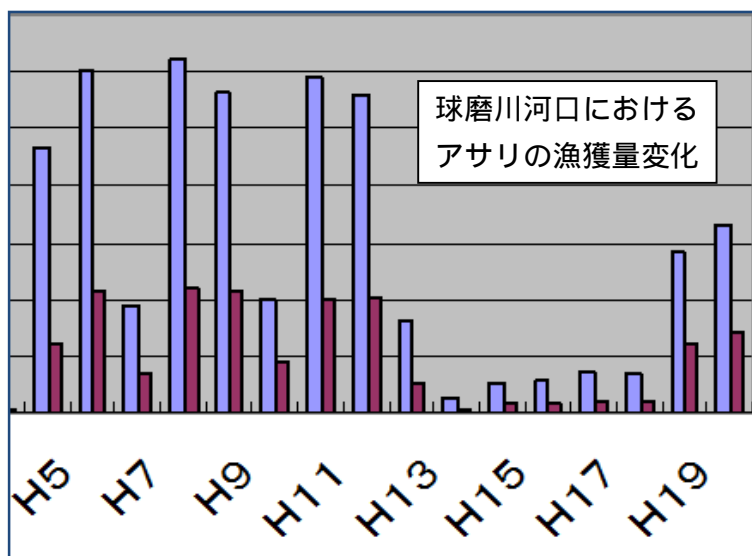
# 荒瀬ダムに関する学習会

荒瀬ダム撤去と球磨川・八代海の再生

第1回

## アサリ漁場から球磨川と 荒瀬ダムの関係を考える

講師：堤裕昭（熊本県立大学環境共生学部）



昭和40年代までは、球磨川の河口で大量に採れていたアサリは徐々に減少し、平成13年には全く採れなくなりました。その原因について調査検証を行った堤先生の学習会です。八代海の赤潮やアサリの漁場である干潟の環境、球磨川の環境に荒瀬ダムはどう影響しているのでしょうか。

平成21年  
**2月6日(金)**

午後6時30分開場、午後7時開始

やつしろハーモニーホール大会議室A B

参加費：300円(資料代)

問合せ：本田進(電話 0965-45-2340)

主催：荒瀬ダムの撤去を求める会

ダムを撤去して、清流とアユが内水面漁業も八代海の漁業も活気づく。さらに球磨川そのものが大きな観光資源になり活気づく。

環境を経済的に試算することは難しいが、清流が戻った時の効果まで考えるべき。

(平成20年11月28日の熊日掲載の堤先生コメント)